

社会的意思決定論（2012 年度冬学期）

修正版（2012 年 12 月 7 日時点）

講義基礎情報

科目番号：03-123201（1.5 単位）

開講学科：社会基盤学科

場所：工学部 1 号館 14 号講義室

講義担当者：加藤浩徳（kato@civil.t.u-tokyo.ac.jp）

開講日時：金曜 1 限(8:40～10:10)

講義のねらい

社会基盤施設の多くは、公共財としての特性を持つ財である．そのため、その供給に関わる社会的意思決定が本質的に重要となる．本講義では、集合的選択に関わる基礎理論を理解し、その社会基盤に関わる意思決定問題への示唆を学ぶことを目的とする．

講義内容（予定）

- 第 1 回(10/5)      イントロダクション：公共財の基礎
- 第 2 回(10/26)    直接民主主義下の意思決定
- 第 3 回(11/2)      全員一致ルールと効率的供給
- 第 4 回(11/9)      費用便益分析と補償原理
- 第 5 回(11/16)    社会的厚生関数とアローの一般可能性定理
- 第 6 回(11/20)    多数決の意義と問題(1)
- 第 7 回(12/7)      多数決の意義と問題(2)
- 第 8 回(12/14)    ~~小テスト~~公正論
- 第 9 回(12/21)    ~~公正論~~センのパラドックス（小レポート課題提示）
- 第 10 回(1/11)    ~~センのパラドックス~~メカニズムデザイン論の基礎
- 第 11 回(1/18)    社会的意思決定の事例分析 1（小松崎助教による）
- 第 12 回(1/25)    ~~メカニズムデザイン論の基礎~~社会的意思決定の事例分析 2（小松崎助教による）
- 第 13 回(2/1)      間接民主主義下の社会的意思決定（レポート課題提示）

注：10/12 および 10/19 は海外出張のため休講の予定．11/20 は工学部規定による振替講義日．

成績評価

出席はとらない．途中で行われる~~小テスト~~（~~レポート~~）と最終回に出す予定のレポート課題により評価．

履修要件

社会基盤学科にて 2 年冬学期に提供される「基礎経済学」（加藤）と 3・4 年夏学期に提供される「評価論」（加藤）の履修を前提とする．

教科書

前半は、デニス C.ミューラー「公共選択論」（有斐閣，2003）を中心に講義を進める．

連絡先

当講義に関する質問等がある場合には、加藤浩徳准教授（kato@civil.t.u-tokyo.ac.jp）まで連絡すること．